



孤独と孤立をなくす～コミュニケーション型見守りサービス～

March, 2016

こころみのvision, mission, value

Vision; どんな世界を目指すのか

すべての孤独と孤立をなくす

Mission; その世界の実現のために何を行うのか

コミュニケーションによって人をつなげる

Value; どのような組織であるべきか

究極の聞き上手テクノロジー集団

サービスラインナップ



親の雑誌

会話型見守りサービス

親のための自分史作成



コミュニケーションによって親子の絆を深める

親御さんを元気に！

親子コミュニケーションを活性化

お子様の、親御さんの状況把握を可能に

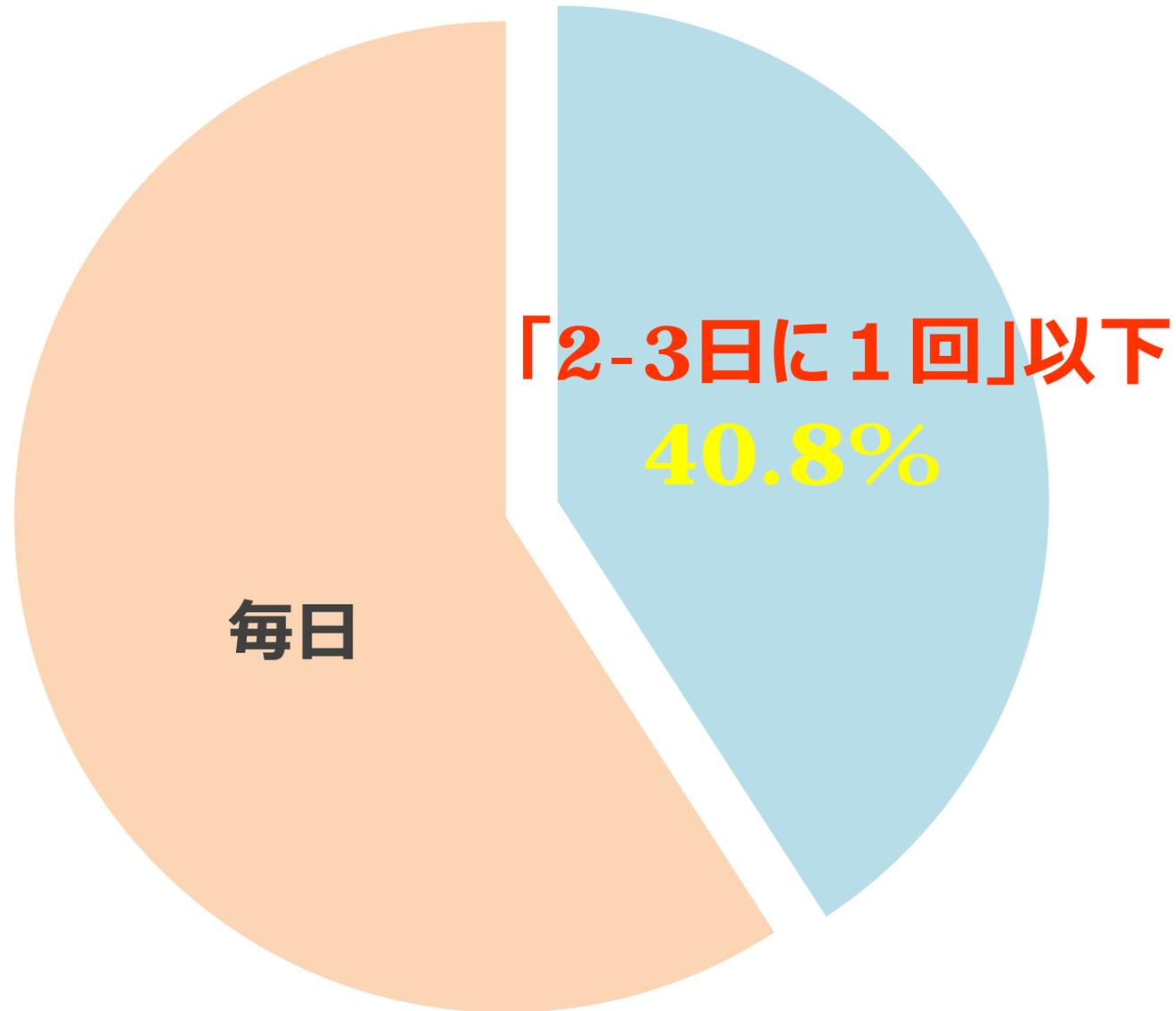


親御さんの元気で、お子様もハッピーに

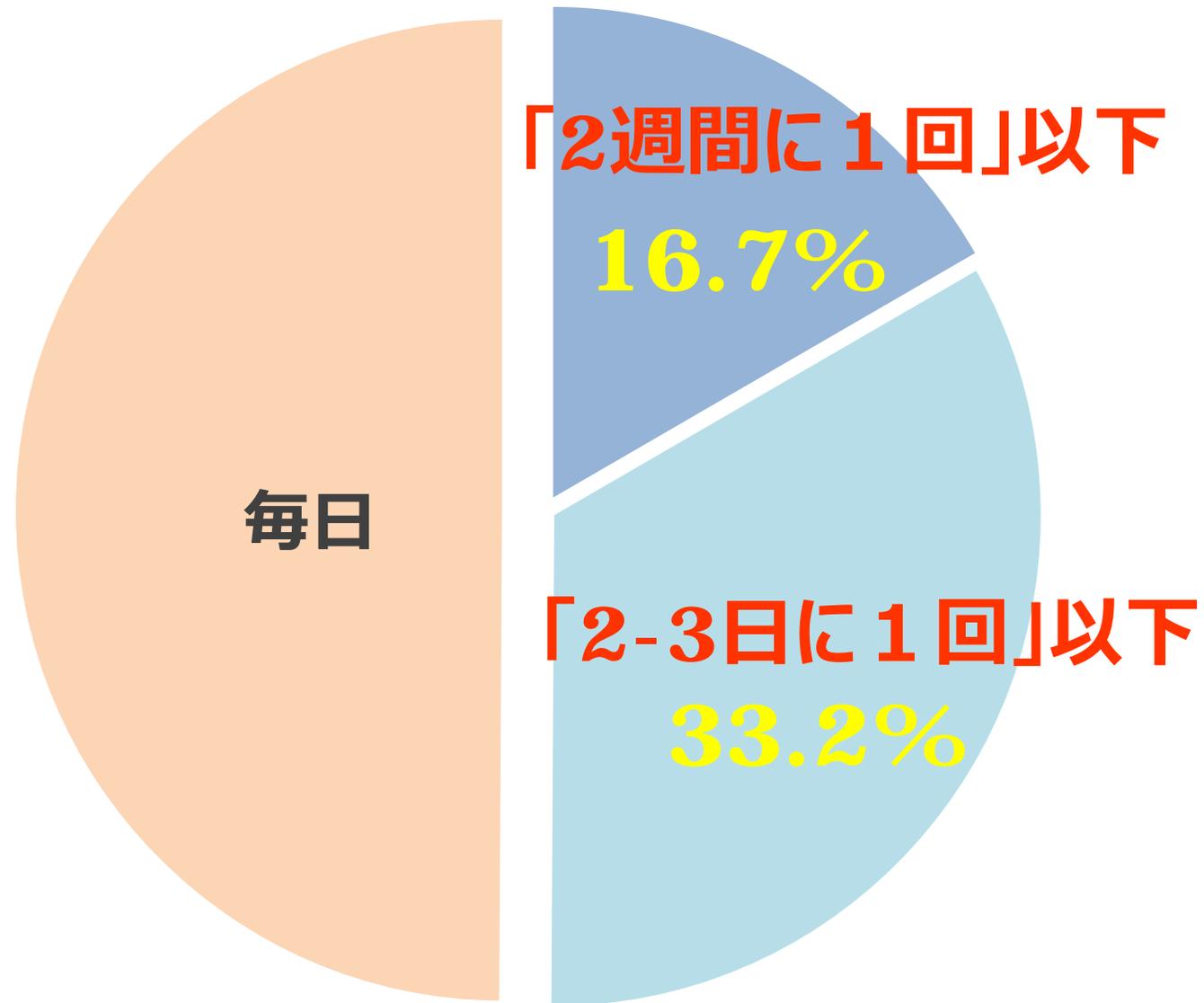
孤独について

1日にどれくらい人と話をしていますか？

一人暮らし高齢者の会話頻度



一人暮らし高齢者の会話頻度（男性）



孤独は健康にわるい

4月22日付・読売新聞朝刊社会面 「孤独のリスク1.4倍。」



他者との交流が週1回未満の高齢者は、要介護や認知症になる危険性が、毎日頻繁に交流している人より約1・4倍高まっていることが、日本福祉大の斉藤雅茂准教授（社会福祉学）らの調査でわかった。月1回未満の人は、要介護や認知症に限らず、すべての要因による死亡リスクも高まる。社会的に孤立するほど、健康への悪影響も深刻化することが明らかになった。

「つながりプラス」

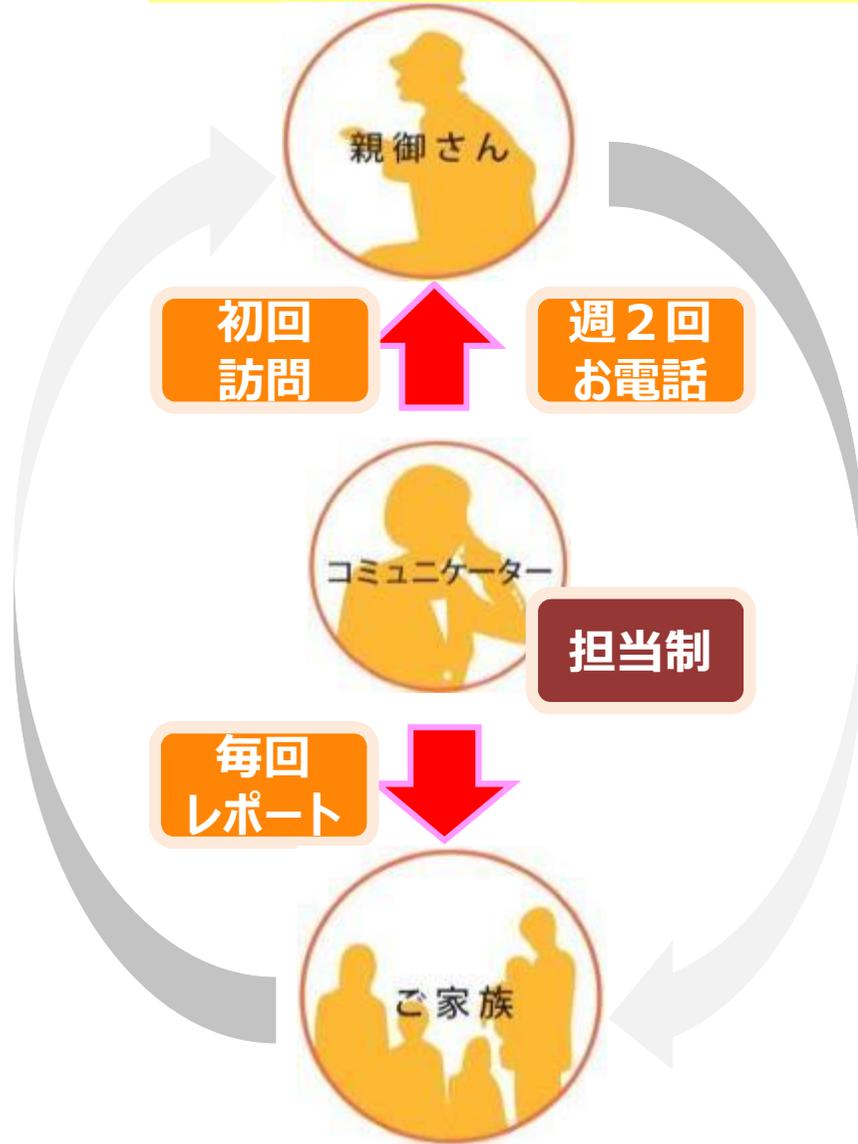
絆を深める**会話型**見守りサービス

離れていても、
伝わる心。



「つながりプラス」サービスポイント

担当制 初回訪問 + 毎週2回の電話 → メールで報告



担当制

専任の担当者が2人一組で、初回訪問から毎回の電話まで担当します

初回訪問

ご自宅かご近所まで直接うかがうことで信頼関係を構築します

週2回お電話

定期的にお電話し、ご本人のお話したいことをお聞きします

毎回レポート

その都度、その日のうちに「聞き書き」レポートをお送りします

聞き書きレポートサンプル

送信(S)	宛先...	tamotsu.wakasa@yahoo.com
	CC(C)...	
件名(U):		【ごころみ】 若狭保子様 10月8日 お電話結果報告

若狭 保様

10月8日 13時15分から10分間、若狭 保子様とお話させていただいた内容をご報告いたします。

今朝、風邪気味で病院に行かれたというお話でした。少し鼻声のご様子でした。

<お話の内容>

こんにちは。

暑いですねえ。今日は、もう30度を超えていますよ。まったく。

雨のあとだから蒸し暑いですねえ。でもうちのほうくらい山になると、夜は20度くらいまで下がって、温度の差が激しいんですよ。

今朝方、風邪気味だったので病院に行ってきました。でもまあ、お医者さんの言うには、熱はなくて、たいしたことないのでってということで。漢方薬だけもらってきて、飲んだら少し楽になったような気がしますよ。

ええ、でも無理は禁物だと思うので、しばらく外出を控えめにしようと思います。

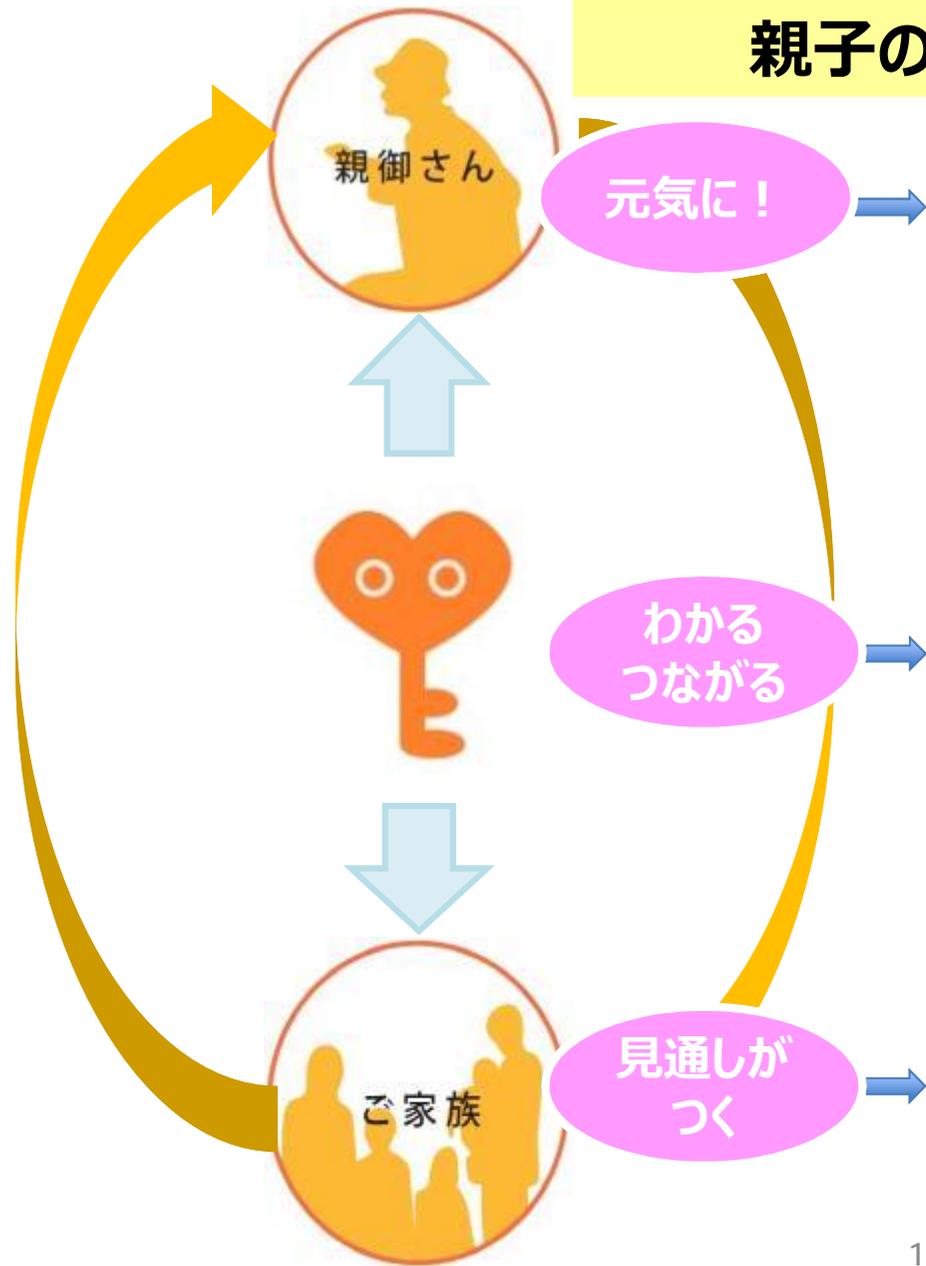
体は大事にしないとねえ、ほんとに。

今日の夕方からお友達と一緒にコンサートに行ってお飯を食べる約束をしているので、休めないんですよ。

だから明日はゆっくりしようと思います。

「つながりプラス」の効果

親子のなかだちに入る3つの効果



第三者との定期的な会話は、**日常生活の活性化**を促します。
また、会話は**認知症対策**や**歩行力の維持**にも役立つと言われています。

体調など**直接言いにくいことが伝わる**ようになります。
様子がわかることで**会話のきっかけ**ができ、親子のコミュニケーションを増やします

親御さんの状況を常に把握できるため、**介護など将来に向けた心構え**ができます。
また、**異変があった場合に早期の対策**が可能になります

实例紹介

事例：腰が痛い



事例：孫が来ない



事例：指輪を売らされた

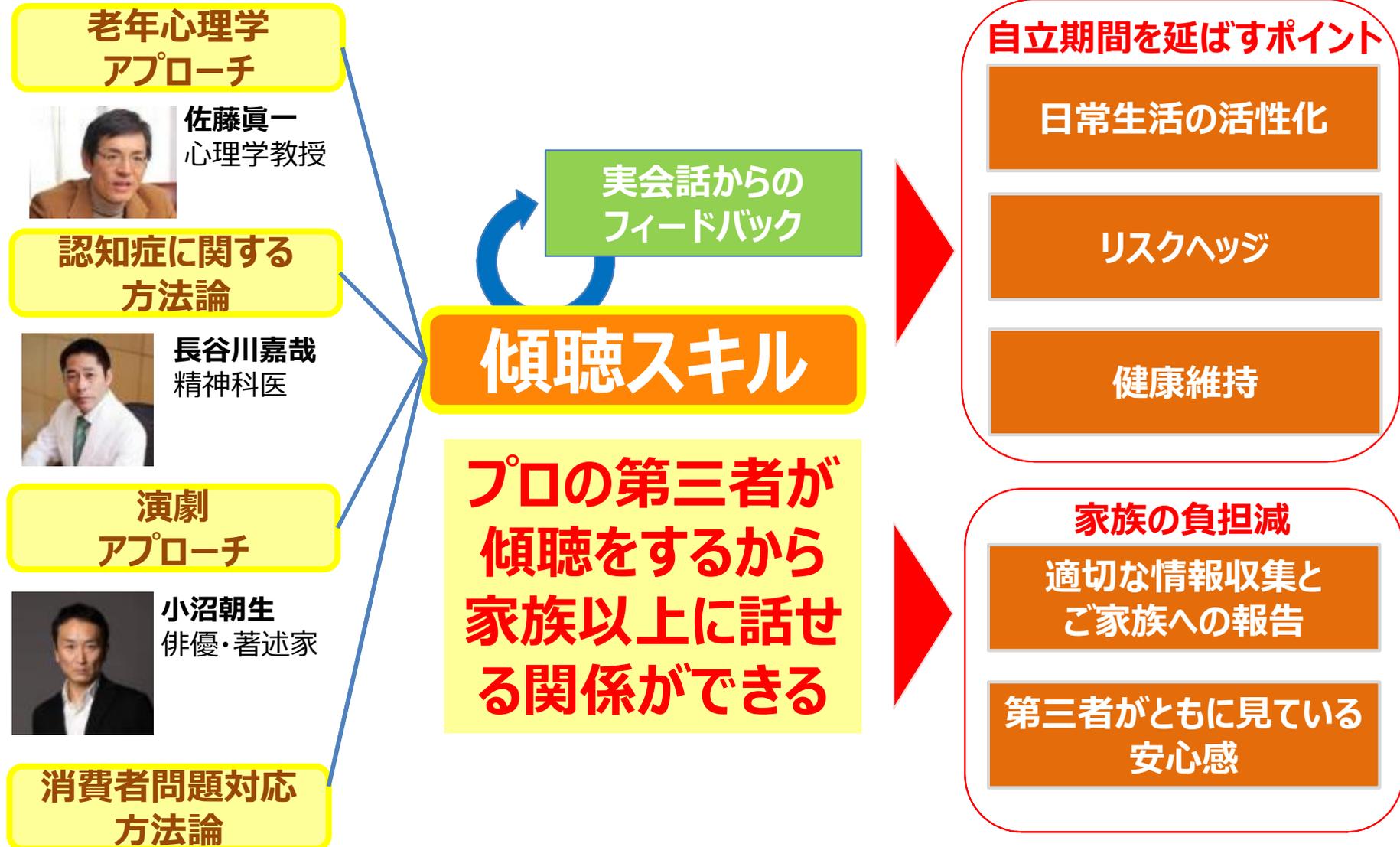


事例：烧肉



プロのコミュニケーター&専門会社だからできるコミュニケーションサービス

4分野の専門家の協力を得て開発された独自のコミュニケーションプログラムをトレーニングおよびサービス提供に展開しているからできる独自のモデルです





こころみ

あなたのこころをみつめます